

令和7年9月22日（月曜日）

平和祈る墨痕 力強く 盛岡二高書道部が奉納揮毫



恒久平和を願い、筆を走らせる盛岡二高の書道部員＝21日、盛岡市八幡町・岩手護国神社

国連の定める国際平和デーの21日、盛岡市八幡町の岩手護国神社で、盛岡二高書道部（館沢愛美部長）による奉納揮毫が行われた。平和の祈りを込めて、災害からの復興、戦争のない世界を願った。

2、3年生8人が参加。厳肅な雰囲気の中、縦1・6尺、横3・2尺の紙に平穏な世を意味する「天下泰平」の字と、笑顔があふれる未来を希求する四つのメッセージを力強い筆致でたたためた。

奉納揮毫は平和活動を展開する名古屋市の任意団体・和プロジェクトTAISHI（宮本辰彦代表）主催の「9・21世界平和の祈り」の一環。全国の護国神社などで実施した。

館沢部長（2年）は「二筆一筆に平和への祈りを込めた。今年には戦後80年の節目。戦争と平和について改めて考えるきっかけにしたい」と語った。書は神社内に掲示する。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。